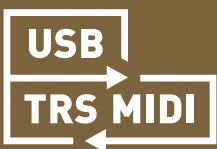


# *OLIVERA*

— vintage oil can echo —

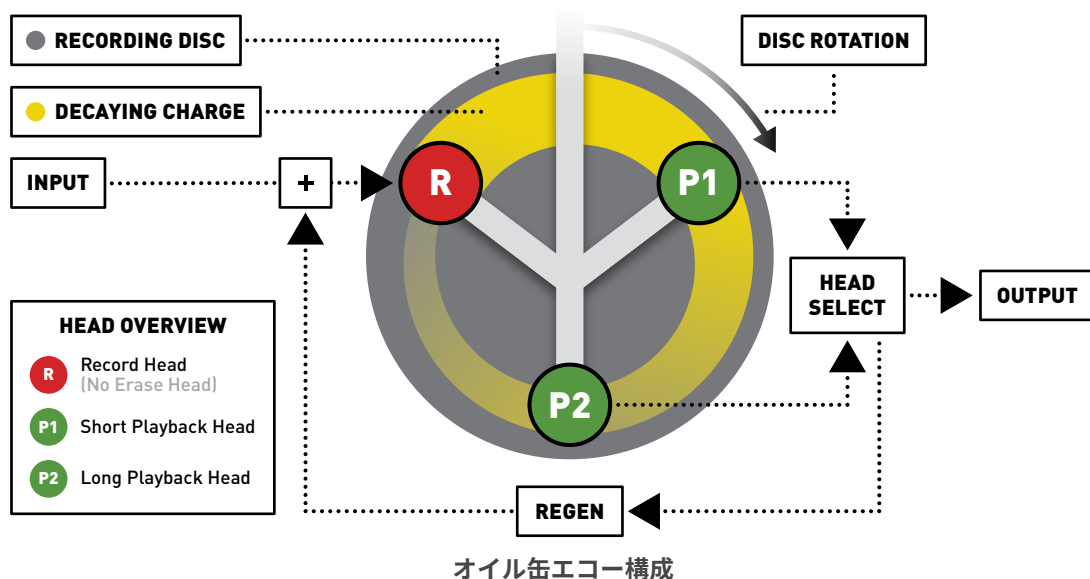
日本語ユーザーマニュアル



概要	3
各部の名称と働き	4
フロントパネル・コントロール	4
リアパネル I/O & コントロール	6
ライブエディット機能 - トーン機能	9
パワーアップ・モード	10
Mono I/Oのバイパスモード	10
スピルオーバー・モード	11
ドライシグナル	12
LEDの輝度設定	13
外部コントロール	14
EXP/MIDI ジャックの設定	14
エクスプレッションペダルの設定	16
フェイバリットスイッチの設定とコンペアモード	17
モジュレーション&インフィニティ・モードとジャンパースイッチの設定	19
モジュレーション・モードのスイッチ設定	20
インフィニティ・モードのスイッチ設定	21
本機をMultiSwitch PLUS用に設定する	22
MultiSwitch PLUSを本機用に設定する	23
MultiSwitch PLUSをプリセットモードで使用する場合	24
MultiSwitch PLUSで本機のプリセットを保存する場合	24
カスタムモードでMultiSwitch PLUSを使用する	25
MultiSwitch Plusを使用して本機のお気に入りプリセットを保存する場合	25
MIDI機能	26
本機でMIDIを使用するための設定	26
MIDI モードでのプリセット保存	31
MIDI スペシフィケーション	32
MIDI プログラムチェンジ	32
MIDI コンティニュー・コントロール (CCs)	33
ファクトリーリセット	34
ファクトリーデフォルト・セッティング	35
主な特徴	36
スペシフィケーション	37
電源アダプター規格	37
Appendix 1: サンプルセッティング	38
Appendix 2: パワーアップモード クイックリファレンス	40
Appendix 3: ライブエディット機能 クイックリファレンス	43
使用上のご注意	45
Strymon 限定保証 (譲渡不可) に関する規定	46

## 概要

ビンテージオイル缶エコー機器は、回転する金属缶に静電気を帯電させる電気機械式ユニットです。オイルを潤滑剤として使用することで、缶の電荷を保持します。その結果生じる遅延信号は帯域が非常に制限され、濁った響きのエコーを生み出します。しかし、オイル缶エコーが持つ独特の雰囲気は、それだけではありません。



これらのユニットは録音ヘッドと通常は2つの再生ヘッドを備えていますが、消去ヘッドは備えていないのが一般的です。そのため、缶の回転時に電荷がいくらか残存します。それが、システムに2つの独自の特性をもたらします。：

- まず、再生ヘッドからのフィードバック (**REGEN**) がかかっていない場合でも、再生リピート音を生成します。静電気には独自の減衰時定数があるため、どのような設定でもエコーの「リピート」が常に発生します。
- 次に、エコーの再生リズムに不均一なリズムを生成します。最初のエコーは録音ヘッドから再生ヘッドまでの距離で発生しますが、その後のエコーは、消散した信号が戻ってくる際に、システムの回転速度で発生します。結果として生じる不均一な遅延リズムは、強い「リズム」要素がないにもかかわらず、独特の雰囲気を作り出す大きな要因となっています。

再生ヘッドからのフィードバック (REGEN) を追加したり、2つのヘッドの出力を組み合わせることで、エコーの雰囲気が増します。

## 各部の名称と働き

### フロントパネル・コントロール

#### HEADS

3ウェイトグルスイッチで、異なるディレイタイムとパターンに合わせてアクティブな再生ヘッドを選択します。

**long**：（左の位置）録音ヘッドから離れた位置で、ディレイタイムが長くなります。

**short**：（中間位置）録音ヘッドに近く、ディレイタイムが短くなります。

**both**：（右の位置）両方のヘッドを有効にして、マルチタップエコーパターンを生成します。

#### TIME

ビンテージオイル缶エコーでは、オイル缶の回転速度を変化させることでディレイタイムを調整します。**TIME**は仮想的な回転速度を調整します。ディレイタイムは**HEADS**の選択によっても決まります。

ショートディレイタイム：72ms - 290ms

ロングディレイタイム：155ms - 620ms

ディスクローテーション：200ms - 800ms

#### RATE

エコーリピートに適用されるモジュレーションの速度をコントロールします。

#### INTENSITY

モジュレーションの深さを調整します。最小値ではモジュレーションはオフになります。\*



\*NOTE：オプションとして、Strymon MultiSwitch Plus（[22ページ参照](#)）または MiniSwitch（[20ページ参照](#)）を使用して、モジュレーション、無限リピートなどをリモートで切り替えることができます。

## ノブとスイッチ

### フロントパネル・コントロール

#### LEDインジケーター

缶の回転速度によって設定されるディレイタイムを点滅で表示します。**フットスイッチ**でエフェクトのオン/オフを切り替えます。また、ライブエディットやパワーアップモードの設定時には、LEDが点灯または点滅し、追加の色で表示されます ([9ページ](#)をご覧ください)

#### MIX

ドライ信号とウェット信号のバランスをコントロールします。最小でドライ信号100%、最大でウェット信号100%まで調整できます。**DRY SIGNAL**がデフォルトのデジタルモードに設定されている場合、3時の位置にすると50/50のミックスになります。(ドライ信号の選択については[12ページ](#)をご覧ください。)

#### REGEN

選択したヘッドから入力へフィードバックされるディレイ信号量を調節します。最小値では、ヘッドフォンに残る静電気の影響で多少エコーが残ります。最大値では、発振音とエンドレスリピート音が発生します。\*

#### FOOTSWITCH

エフェクトのオン/オフを切り替えます。ペダル上部の**レッド**LEDが点灯している場合は、エフェクトがオンになっていることを示します。デフォルトではトゥルーバイパスが選択されていますが、本機はオプションでバッファードバイパスへの設定変更も可能です。( [10ページ](#)参照)。フットスイッチを押しながら**REGEN**を回すと、ライブエディットの**STONE**機能が調整できます ([9ページ](#)参照)。フットスイッチを2秒間長押しするとSAVE/EXPRESSIONモード ([31ページ](#)参照)に入るか、エクスペッションペダルのパラメータ割り当てを設定できます ([16ページ](#)参照)。



\*NOTE : 発信リピートは急速に大きくなる可能性があります。発信リピートを引き起こす可能性のある高い**REGEN**設定で短いエコー時間を使用することは避けてください。

## リアパネル I/O & コントロール

### I/O モードセクター

**Mono** : (左の位置) ギターなどのモノラル入力信号に使用します。

出力はモノラル、デフォルトはトゥルー・バイパスです。

**mono → stereo** : (センター位置) モノラル入力信号に使用します。

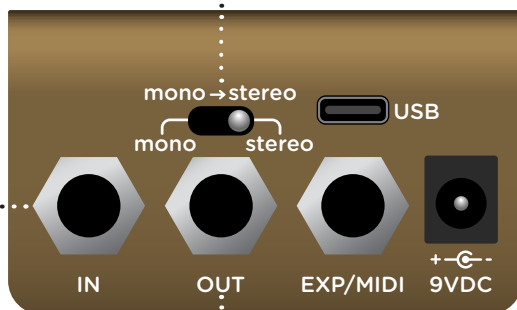
出力はステレオ、バイパスモードはバッファード・バイパスです。

**Stereo** : (右の位置) ステレオ入力信号で使用します。OUTジャックにステレオケーブルを接続すると、出力はトゥールーステレオになります。\*

バイパスモードはバッファードバイパスです。

\*ステレオ I/O には、TRSアダプターまたはケーブルが必要です。

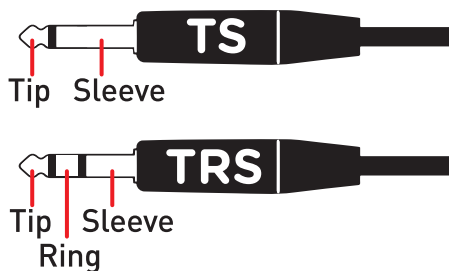
(次の例を参照してください。)



<p><b>IN</b></p> <p>ハイ・インピーダンス、超低ノイズ、 ディスクリートClass A JFETステレオ プリアンプ。</p>	<p><b>OUT</b></p> <p>ロー・インピーダンス TRSステレオ出力。 (TRSジャック)</p>
----------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------

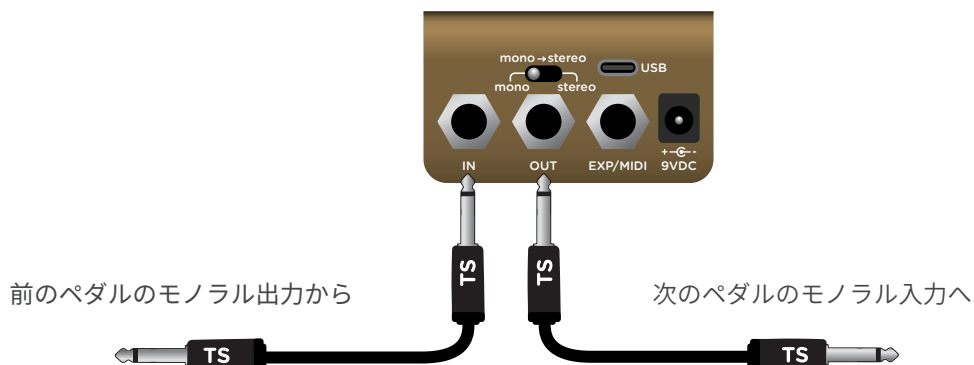
### モノ&ステレオI/Oケーブルの接続

OliveraのINおよびOUTジャックは、それぞれモノラルまたはステレオ接続用のTSまたはTRSタイプの1/4インチケーブルに対応しています。

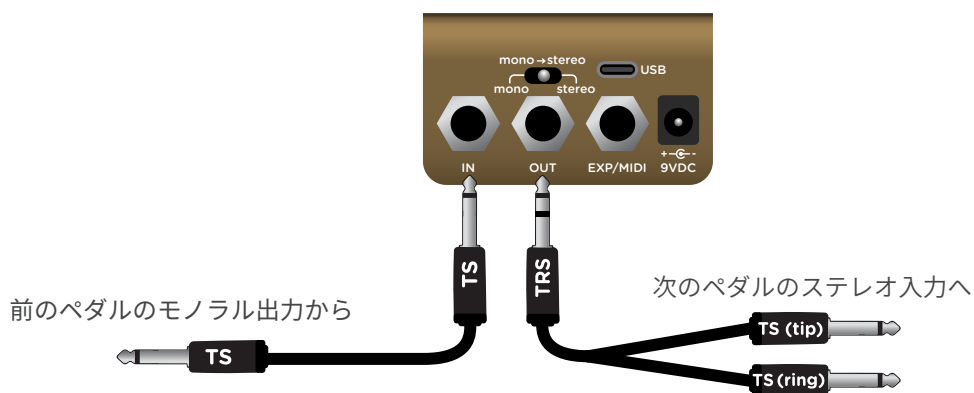


**NOTE** : TRSステレオ接続の場合、L信号はTip、R信号はRingを通過します。

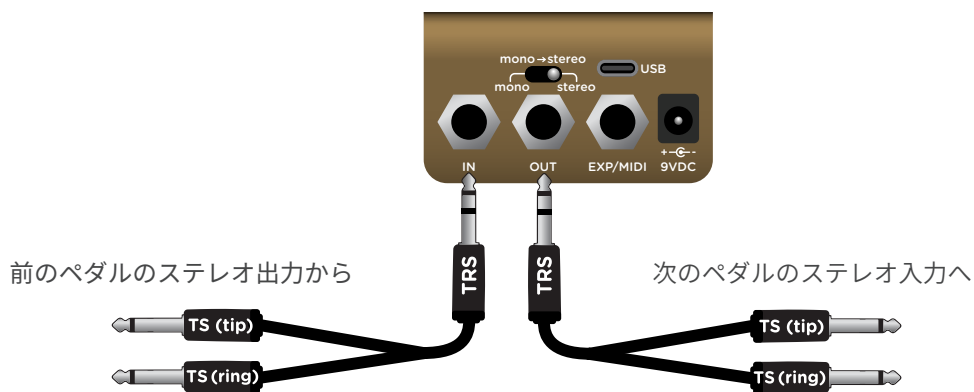
**Mono In - Mono Out** : 本機をモノ信号チェーンに接続するには、INとOUTの両方にTSケーブルを使用します。I/Oセクタースイッチの設定はモノにします。



**Mono In - Stereo Out** : 本機にモノ信号を入力するにはTSケーブルを使用し、INに接続します。TRS + デュアルTS ケーブルをOUTに接続し、ステレオ信号をステレオペダルにルーティングします。I/Oの設定はセクタースイッチでモノ→ステレオにします。



**Stereo In - Stereo Out** : 本機をステレオ信号チェーンに接続するには、INとOUTの両方にTRS + デュアルTSケーブルを使用します。セクタースイッチをステレオにしてI/Oを設定します。



**NOTE** : TRS - TRSケーブルを使用してペダルを接続することもできます。(cloudburstのTRSステレオ入力に接続する場合など)

## リアパネル I/O & コントロール

### USB-C

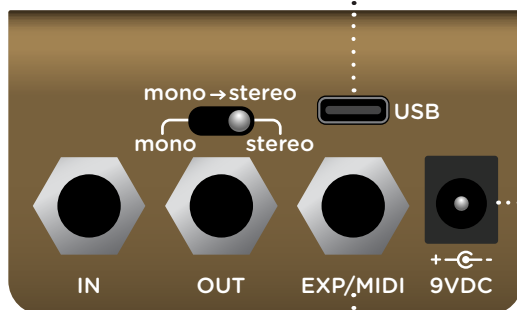
MIDI I/Oとファームウェアの更新に使用するコンピューター用接続ジャックです。

### 9VDC/DC9V

以下の仕様アダプターのみを使用してください。

- 2.1mm、センターマイナス
- 9VDC
- 最小250mA

(アダプターは別売りです。)



### EXP/MIDI

本機の外部コントロール用の多機能コミュニケーションジャックです。以下のいずれかのモードで動作するように設定できます。(詳しくは[14ページ](#)「EXP/MIDIジャックの設定」をご覧ください。)

- **エクスプレッションペダルモード** ([16ページ](#)をご覧ください。)
- **フェイバリットモード** ([17ページ](#)をご覧ください。)
- **タップモード** ([20ページ](#)をご覧ください。)
- **インフィニティ・モード** ([21ページ](#)をご覧ください。)
- **MIDIモード** ([22ページ](#)の「MultiSwitch Plusの設定」または、[31ページ](#)の「MIDIモードでプリセットを保存する。」をご覧ください。)

## ライブエディット - トーン機能

Olivera には、エコーリピートのトーンを調整できるオプションの **TONE** コントロールが搭載されています。TONE コントロールは、ペダルの通常の操作でアクセスできます（電源を入れ直す必要はありません）。

**ON** フットスイッチを踏みながら、1 秒以内に **REGEN (TONE)** ノブを回すと、エコートーンを最小（ダーク）から最大（ブライト）まで滑らかに調整できます。\* デフォルトでは、**TONE** は 50%（フラット）に設定されています。

**\*NOTE : REGEN**ノブを回さずにフットスイッチを2.5秒間押し続けると、ペダルは**SAVE/EXPRESSION**モードになります。



調整が完了したら、**ON** フットスイッチを離して終了し、トーン設定を保存します。

**NOTE :** トーン設定は、お気に入り設定またはMIDIプリセットごとに保存されます。

## パワーアップ・モード

### Mono I/O のバイパスモード

背面の I/O モードセレクターをモノラルに設定すると、本機はデフォルトのトゥルー・バイパスに設定されます。\* バッファード・バイパスモードに設定すると、ペダルチェーンや長いケーブルでの接続でも高域特性が損なわれません。

**NOTE**：背面の I/O モードセレクターがモノ→ステレオまたはステレオの場合、バイパスモードは自動的にバッファード・バイパスに設定されます。（さらに、「スピルオーバーモード」がオンになっている場合は、バッファードバイパスモードがオンになります。）

- 1 フットスイッチを押し続けながら電源アダプターのプラグを挿します。  
2 秒以上経ち、LED が **レッド** に点滅したら、フットスイッチを離します。



- 2 **HEADS (BYPASS MODE)** スイッチを切り替えて、トゥルーまたはバッファードバイパスモードを選択します。スイッチを切り替えると LED の色が変わり、現状を表示します。
  - **トゥルーバイパス**: スイッチを **long** (左) または **med** (中央) の位置に設定します。LED は **グリーン** に点灯します (デフォルト)。
  - **バッファードバイパス**: スイッチを **both** (右) の位置に設定します。LED は **レッド** に点灯します。

**NOTE**：short (中央) は、最後に選択したバイパス設定と同じになります。

- 3 フットスイッチを押してバイパスモードを保存し、本機の使用を開始します。

**NOTE**：バイパスモードの設定は、電源を入れ直しても維持されます。

## パワーアップ・モード

### スピルオーバー・モード

本機をスピルオーバー・モードに設定すると、現在選択されているプリセットのウェット・ディレイ信号がバイパスに「スピルオーバー」されます。または、プリセットの切り替えに Multiswitch Plus または MIDI を使用している場合は、次にロードされたプリセットに「スピルオーバー」されます。

**NOTE :** バッファ・アーキテクチャーの特性上、プリセット間のスピルオーバーが機能するには、現プリセットが少なくとも5秒間アクティブになっている必要があります。エフェクトをバイパスすると、スピルオーバーはすぐに使用可能になります。

- 1 **フットスイッチ**を押し続けながら電源アダプターのプラグを挿します。2秒以上経ち、LEDが**レッド**に点滅したら、フットスイッチを離します。



- 2 **REGEN (SPILLOVER MODE)** ノブを回して、スピルオーバー・モードのオン / オフを切り替えます。ノブを回すとLEDの色が変わり、現態を表示します。
  - スピルオーバー・モード オフ: **アンバー** (デフォルト、最小位置)
  - スピルオーバー・モード オン: **パープル** (最大位置)

**NOTE :** スピルオーバーがオンに設定されている場合、バイパスモードはバッファードバイパスに設定されます。

- 3 **フットスイッチ**を押してスピルオーバーモード設定を保存し、本機の使用を開始します。

**NOTE :** スピルオーバーモードの設定は電源を入れ直しても維持されますが、プリセット毎には保存されません。

## パワーアップ・モード

### ドライシグナル

ドライ信号は3つの異なる方法が設定できます。

- **Digital Mode** (デジタルモード) では、変換されたドライ信号を使用します。**MIX ノブ**を3時の位置を超えた時点でドライ信号を取り除くことができます。
- **Analog Mode** (アナログモード) では、ドライ信号をアナログのまま保持します。
- **Kill Dry Mode** (キルドライモード) はアナログドライパスの信号をミュートし、**MIX ノブ**でウェットエフェクトの出力レベルを厳密にコントロールします。これは、本機をアンプの平行エフェクトループ内、またはミキサーのAUXまたはエフェクトセンド内で使用する場合に便利です。

- ① **フットスイッチ**を押し続けながら電源アダプターのプラグを挿します。2秒以上経ち、LEDが**レッド**に点滅したら、フットスイッチを離します。



- ② **INTENSITY (DRY SIGNAL)** ノブを回して、3つのドライ信号オプションから1つを選択します。ノブを回すとLEDの色が変わり、現在の状態を示します。
  - **Digital Mode** (デジタルモード) : **グリーン** (デフォルト、ノブの最小位置)
  - **Analog Mode** (アナログモード) : **レッド** (12時の位置)
  - **Kill Dry** (キルドライモード) : **ブルー** (ノブの最大位置)
- ③ **フットスイッチ**を押してドライシグナル設定を保存し、本機の使用を開始します。

**NOTE** : ドライシグナルの設定は電源を入れ直しても保持され、プリセットごとに保存されるわけではありません。

## LED 輝度設定

LED の明るさを調整することで、あらゆる環境や照明条件での視認性を最適化することができます。

- 1 フットスイッチを押し続けながら電源アダプターのプラグを挿します。  
2 秒以上経ち、LED が**レッド**に点滅したら、フットスイッチを離します。



- 2 もう一度フットスイッチを押したまま、**REGEN (LED BRIGHTNESS)** ノブを回して、LED の明るさを低から高 ( デフォルト ) まで調整します。調整が完了したら、フットスイッチを離します。
- 3 フットスイッチを押して離すと LED 輝度設定が保存され、本機の使用を開始できます。

**NOTE :** LED輝度設定は電源を入れ直しても維持されますが、プリセットごとには保存されません。

## 外部コントロール

### EXP/MIDI ジャックの設定

- 1 フットスイッチを押し続けながら電源アダプターのプラグを挿します。  
2秒以上経ち、LEDが**レッド**に点滅したら、フットスイッチを離します。



- 2 **MIX (EXP/MIDI JACK)** ノブを回して、リアパネルの EXP/MIDI ジャックの機能を選択します。ノブを回すと LED の色が変わり、現在の状態を表示します。
  - **Expression Pedal Mode (エクスプレッション・ペダル・モード)** : **グリーン** (デフォルト、最小位置) - 標準的な TRS エクスプレッション・ペダルを使用して任意のノブを連続的にコントロールできます。(詳細は [16 ページ](#)をご覧ください)
  - **Favorite Mode (フェイバリット・モード)** : **アンバー** (11 時の位置) - Strymon MiniSwitch を使用して、お気に入りの設定を呼び出すことができます。(詳細は [17 ページ](#)をご覧ください)
  - **Mod Mode (タップ・モード)** : **レッド** (12 時の位置) - Strymon MiniSwitch を使用して、モジュレーションのオン/オフを切り替えることができます。(モジュレーションは **INTENSITY** ノブと **RATE** ノブで調整できます。)
  - **Infinite Mode (インフィニティ・モード)** : **パープル** (2 時の位置) - Strymon MiniSwitch を使用すると、スイッチを押し続けて入力信号のエコーが無限に繰り返されます。これは基本的に **REGEN** ノブを最大に回すのと同じです。(設定の詳細については [21 ページ](#)をご覧ください。)

## EXP/MIDI ジャックの設定 (続き)

- **MIDI Mode (MIDI モード) :** **ブルー** - Strymon MultiSwitch Plus や外部の MIDI コントローラーが使用できます。
- **MultiSwitch PLUS** - MultiSwitch Plus デバイスは、3つのプリセットにアクセスする PRESET モード、またはスイッチで MOD、FAVORITE、INFINITE をコントロールする CUSTOM モードに設定できます。(詳細は、[22 ページ](#)の「本機を Multi Switch PLUS 用に設定する」をご覧ください。)
- **MIDI** - MIDI モードでは Strymon Conduit または MIDI EXP ケーブルで 1/4 インチの TRS MIDI 接続が可能です。MIDI プログラムチェンジメッセージを送信し、MIDI 機能が利用できます。最大 300 のプリセットを保存できます。(詳細は、[31 ページ](#)の「MIDI モードでプリセットを保存する」をご覧ください。)



- ③ **フットスイッチ**を押して EXP/MIDI ジャックモードを保存し、本機の使用を開始します。

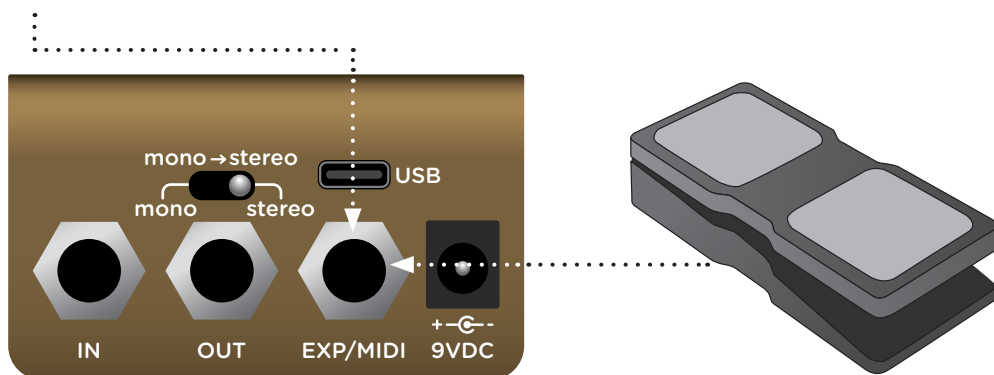
**NOTE :** EXP/MIDIジャックの設定は電源を入れ直しても保持されますが、プリセットごとには保存されません。

## 外部コントロール

### エクスプレッションペダルの設定

TRS エクスプレッションペダルを使用し、本機のノブをリモートコントロールできます。デフォルト設定では、エクスプレッションペダルで **MIX** ノブがコントロールできるように設定されています。

- ① **EXP/MIDI** ジャックを Expression Mode に設定します。(設定の手順は [14 ページ](#) をご覧ください。)
- ② TRS ケーブルを使用して、エクスプレッションペダルを **EXP/MIDI** ジャックに接続します。



- ③ フットスイッチを 3 秒以上押し続けると、LED が**グリーン**に点滅します。
- ④ エクスプレッションペダルをヒールの位置まで動かします。**グリーン** LED の点滅が止まり、点灯に変わります。
- ⑤ コントロールしたいノブを、エクスプレッションペダルのヒールポジションに合わせて設定します。
- ⑥ エクスプレッションペダルをトゥの位置に動かします。LED が**レッド**に変わります。
- ⑦ コントロールしたいノブを、エクスプレッションペダルのトゥポジションに合わせて設定します。
- ⑧ 本機の**フットスイッチ**を押してエクスプレッションペダルの設定を保存して終了します。

**NOTE** : エクスプレッションペダル設定の割り当ては、フェイスリット & MIDI プリセットごとに保存されます。

**NOTE** : 本機がMIDIエクスプレッションに応答するように設定されており、EXP/MIDIジャックがMIDIモードに設定されている場合は、MIDI CC#100を送信して0 (ヒール) ~127 (トゥ) エクスプレッションペダルのセットアップが実行できます。

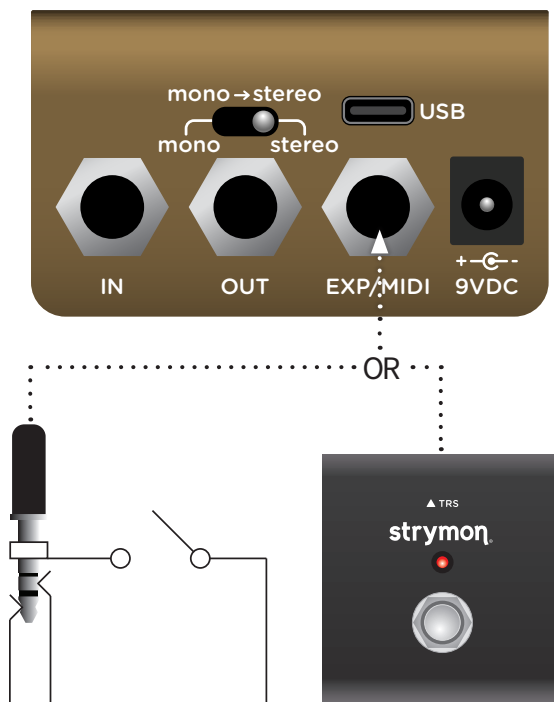
## 外部コントロール

### フェイバリットスイッチの設定とコンペア（比較）モード

MiniSwitchまたはその他の外付けラッチング・フットスイッチを接続すると、フェイバリット設定を保存/呼び出すことができます。

**NOTE:** フェイバリット・スイッチ機能を使用するには、Strymon MiniSwitchの内部ジャンパー・スイッチを工場出荷時の**FAV/BOOSTモード**に設定する必要があります。このジャンパー・スイッチの設定を変更した場合は、**FAV/BOOSTモード**に戻す必要があります。（[19ページ](#)参照）

- ① **EXP/MIDI** ジャックをフェイバリットモードに設定します。（詳細は[14ページ](#)をご覧ください。）
- ② MiniSwitch（または外部ラッチ型スイッチ）をTRSケーブルで**EXP/MIDI**ジャックに接続します。



- ③ 好みのサウンドを設定します。
- ④ サウンドを新しいお気に入り設定として保存するには、本機のフットスイッチを3秒以上押し続け、LEDが**グリーン**に点滅するまで待ちます。次に、本機のフットスイッチをLEDが**ブルー**に点灯するまで押し続け、お気に入り設定を保存します。外部フットスイッチを踏むと、本機の現在の設定とお気に入り設定が切り替わります。

## 外部コントロール

---

### フェイバリットスイッチ セットアップ&コンペアモード (続き)

#### コンペア・モード

フェイバリットまたはMIDIプリセットが呼び出された状態で、ノブまたはスイッチと現在のノブまたはトグル位置が保存された設定と一致すると、LEDが**グリーン**に点滅します。

**NOTE:** パワーアップモードの設定は、グローバルに適用され、プリセット毎には保存されません。

**NOTE:** MIDIを使用する場合、プリセットの保存方法は異なります。(詳しくは[31ページ](#)をご覧ください。)

**NOTE:** フェイバリット設定は、MIDIプログラムチェンジの「0」に保存されます。

## 外部コントロール

### モジュレーションとインフィニットモードのジャンパースイッチ設定

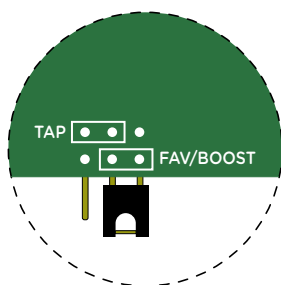
Strymon MiniSwitch（別売）またはサードパーティ製の外部スイッチを使用して、本機のモジュレーションおよびインフィニットモード機能にアクセスできます。

- ラッチ型または非ラッチ型（モーメンタリー）スイッチを押して離すと、モジュレーションのオン/オフが切り替わります。
- 非ラッチ型スイッチを押してホールドすると、インフィニットモードが有効になります。

Strymon MiniSwitchには、ラッチ型（**FAV/BOOSTモード**、工場出荷時のデフォルト設定）または非ラッチ型（**TAPモード**）を選択できるジャンパースイッチが内蔵されています。本機のインフィニット機能を使用するには、以下の手順に従って、このジャンパーを**TAPモード**に設定する必要があります。

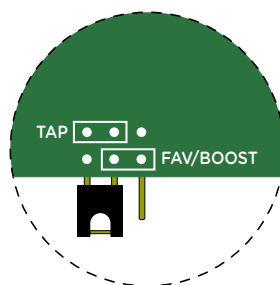
- 1 MiniSwitchのシャーシ底部にある4本のネジを緩めます。
- 2 ボトムシャーシを開いたら、基板の下にある小さなジャンパーを中央と右のピン（**FAV/BOOSTモード**）から中央と左のピン（**TAPモード**）に変更してください。

MiniSwitch 回路基板のジャンパースイッチの拡大図



#### FAV/BOOST モード（Modスイッチング用）

本機のフェイバリットスイッチモードの場合は、ジャンパーを右2つのピンに配置してください。（MiniSwitchは工場出荷時の設定です。）



#### TAPモード（ModまたはInfiniteスイッチング用）

本機のタップおよびインフィニティ・モードの場合は、左2つのピンに配置します。

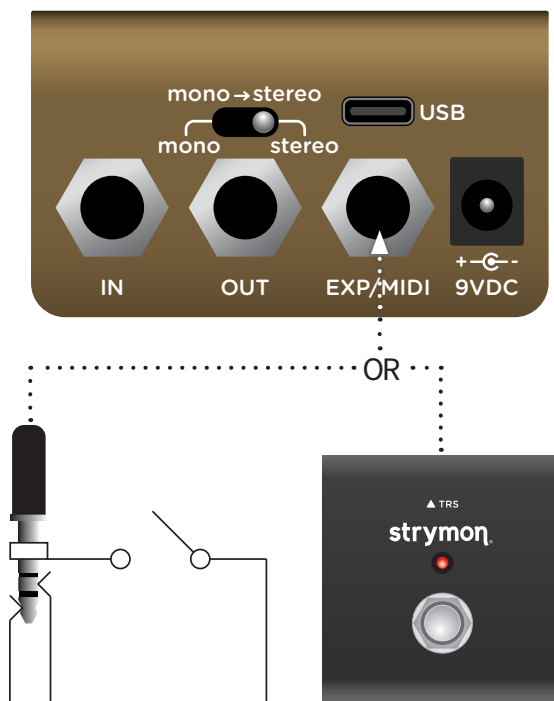
- 3 ジャンパーの設定が完了したら、MiniSwitchのカバーをしっかりと取り付けてください。外部のフットスイッチを設定するには、以下のタップおよびインフィニティ・モードのセットアップをご覧ください。

## 外部コントロール

### モジュレーション・モード・スイッチの設定

MiniSwitchなどのラッチ式または非ラッチ式の外付けフットスイッチをTRSケーブルで接続し、本機のモジュレーションを切り替えます。（モジュレーションの速度と深さは、本機のRATEノブとINTENSITYノブで調整します。）

- ① EXP/MIDIジャックをModモードに設定します。（[14ページ](#)をご覧ください）
- ② TRSケーブルで外付けスイッチをEXP/MIDIジャックに接続します。



- ③ スイッチを押して放すと、モジュレーションのオン/オフが切り替わります。

**NOTE** : モジュレーションを有効にするには、本機のINTENSITYノブを最小値よりも大きい値に設定する必要があります。

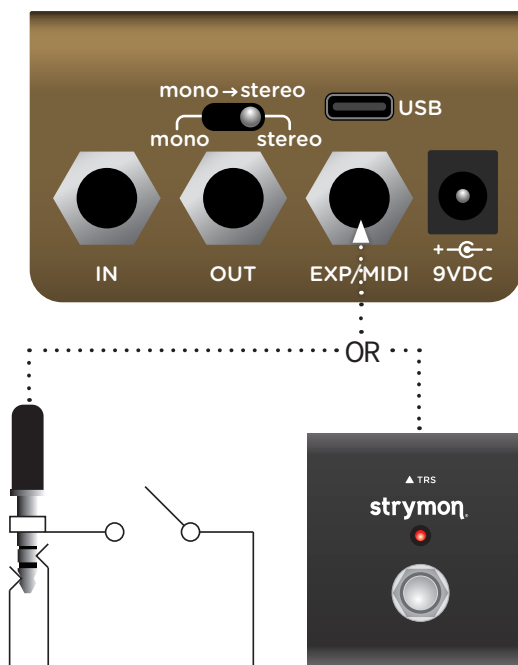
## 外部コントロール

### インフィニティ・モードのスイッチ設定

MiniSwitchまたは他の外部のモーメンタリーフットスイッチをTRSケーブルで接続すると、スイッチを踏むたびに、ディレイの無限リピートが発生します。

**NOTE** : Strymon MiniSwitchの内部ジャンパースイッチを、工場出荷時の**FAV/BOOSTモード**から**TAPモード**設定に変更する必要があります。  
インフィニットモードスイッチ機能を使用するには、[19ページ](#)をご覧ください。

- ① EXP/MIDIジャックをインフィニティ・モードに設定します。 ([14ページ](#)をご覧ください)
- ② TRSケーブルで外付け非ラッチ型スイッチをEXP/MIDIジャックに接続します。



- ③ インフィニットモードを有効にするには：スイッチを押している間、フットスイッチを長押しすると無限リピートがオンになります。フットスイッチを離すとインフィニットモードが解除されます。

## 外部コントロール

---

### 本機を MultiSwitch Plus 用に設定する

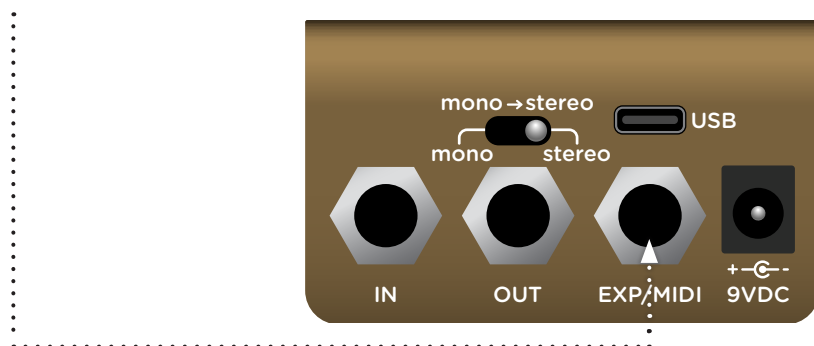
本機と Strymon MultiSwitch Plus（別売）を外部コントロール用に設定します。

- ① 本機のフットスイッチを押したままペダルに電源を接続します。LEDが**レッド**に点滅するまで、2秒以上押し続けます。
- ② TIMEノブを反時計回りいっぱいに戻して、MIDIチャンネルをチャンネル1に設定します。LEDは**グリーン**に点灯します。
- ③ RATEノブを回して、次のMIDIオプションから1つを選択します。
  - MIDI CC、他のデータを送る：**グリーン**
  - 他のデータを送る：**アンバー**
- ④ MIXノブを時計回りに回しきって、EXP/MIDIジャックをMIDIモードに設定します。LEDは**ブルー**に点灯します。
- ⑤ 本機のフットスイッチを押して、設定を終了し保存します。

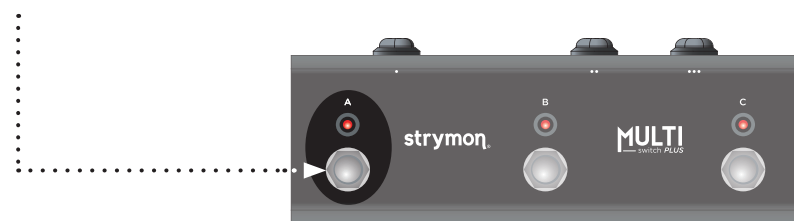
## MultiSwitch PLUS を本機用に設定する

本機とMultiSwitch PLUSを使用する際は、プリセットを選択する**PRESETモード**と、またはMOD、FAVORITE、INFINITEコントロール用の**CUSTOMモード**のいずれかに設定します。

- 1 TRSケーブルを本機の**EXP/MIDI**ジャックに接続します。本機の電源を入れます。



- 2 **プリセットモードの場合**—MultiSwitch PLUSの**A**フットスイッチを押したままTRSケーブルのもう一方の端子を3つのジャックのいずれかに接続します。Aフットスイッチを離すと、MultiSwitch PLUSの全LEDが**グリーン**に点滅します。[24ページ](#)をご参照ください。



⋮  
 (OR)  
 ⋮

**カスタムモードの場合**—MultiSwitch PLUSの**C**フットスイッチを押したままTRSケーブルのもう一方の端子を3つのジャックのいずれかに接続します。Cフットスイッチを離すと、MultiSwitch PLUSの3つのLEDが**グリーン**に点滅します。[25ページ](#)をご参照ください。

## 外部コントロール

---

### MultiSwitch PLUS をプリセットモードで使用する場合

本機をMultiSwitch Plusと併用してプリセットモードで使用する場合、3つのフットスイッチでプリセット1、2、3にアクセスできます。



**NOTE** : MultiSwitch Plusのフットスイッチ A、B、C は、MIDI プログラムチェンジ1、2、3に対応しています。

- 1 点灯していないスイッチを踏むと、対応するプリセットが呼び出されます。
- 2 点灯しているスイッチを踏むと本機はバイパスされます。

### MultiSwitch Plusで本機のプリセットを保存する

- 1 プリセットとして保存したいサウンドを設定します。
- 2 FOOTSWITCHを3秒以上押し続け、LEDが**グリーン**に点滅するまで押し続けます。
- 3 MultiSwitch PlusのA、B、またはCフットスイッチを押して、現在のペダルの設定を目的のスイッチへ保存します。

## カスタムモードで MultiSwitch PLUS を使用する

本機をMultiSwitch Plusとカスタムモードで使用する場合は、3つのフットスイッチでモジュレーション、お気に入りプリセットの選択、無限リピートにアクセスできます。



- フットスイッチAを押して放すと、モジュレーションのオン/オフを切り替えます。本機のRATEとINTENSITYで、モジュレーションの速度と深さを調整します。（モジュレーションを有効にするには、INTENSITYを最小値以上に設定します。）
- フットスイッチBを押して放すと、指定したお気に入りプリセットが読み込まれます（下記参照）。
- フットスイッチCを押し続けると、フットスイッチを押している間、無限エコーリピートが再生されます。

### 本機のお気に入り（フェイバリット）プリセットを保存する。

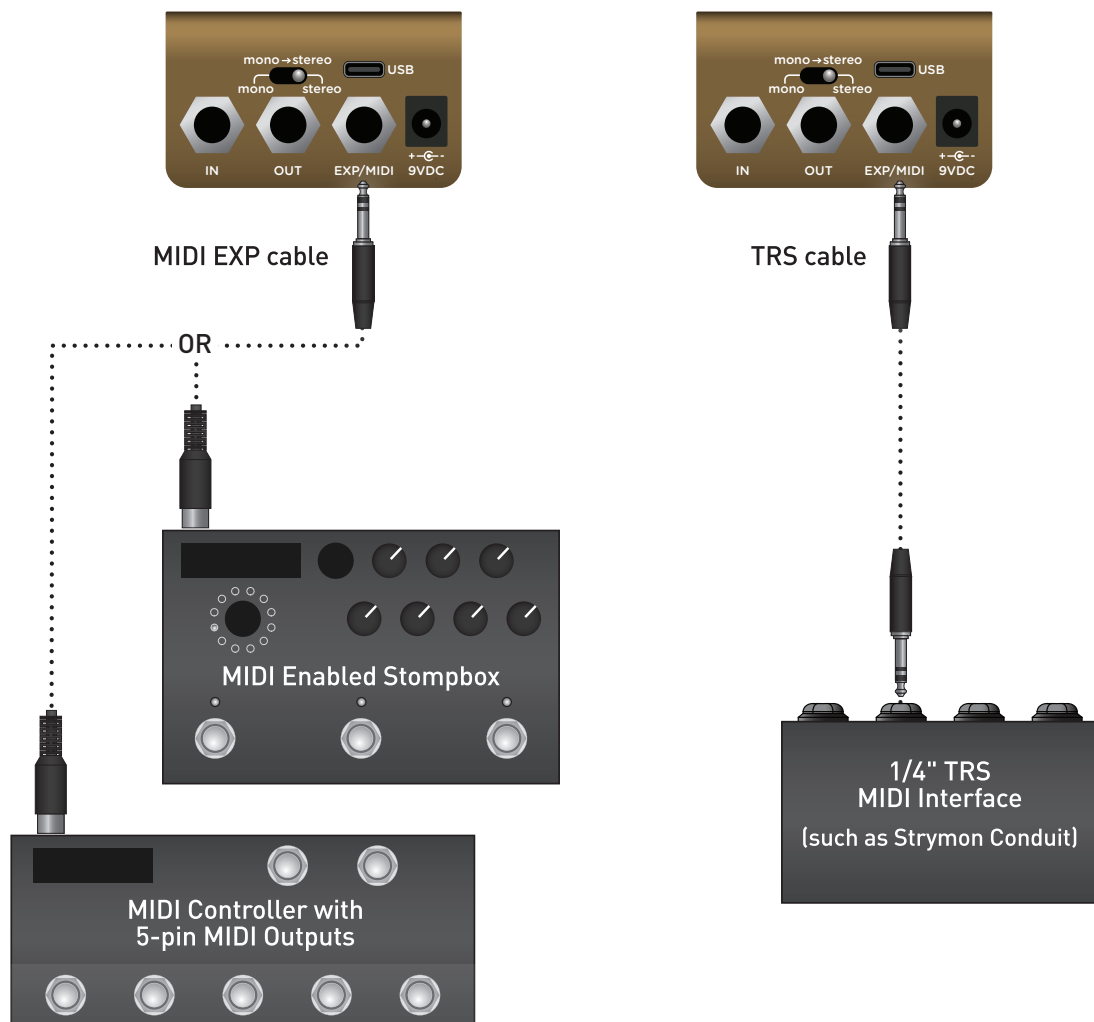
- ① 本機でお気に入りとして保存したいサウンド設定を選択します。
- ② 本機のフットスイッチを3秒間押し続け、LEDが**グリーン**に点滅したら、フットスイッチを離します。
- ③ MultiSwitch PlusフットスイッチのBを押して離すと、ペダルの現在の状態がお気に入りプリセットとしてこの場所に保存されます。

## MIDI 機能

### 本機を MIDI で使用するための設定

MIDIを使用すると、本機の300個のプリセットロケーションをロードするためのツールセットがアンロックされます。本機の**EXP/MIDI**ジャックに接続された適切なMIDIコントローラーまたはインターフェースを使用してロードできます。これには、Strymon MIDI EXPケーブル、または少なくとも1/4インチ出力を備えたStrymon ConduitなどのMIDIコントローラー/インターフェースが必要です。

**NOTE** : Strymon MIDI EXP ケーブルを使用する場合は、MIDI OUTモードをオフに設定する必要があります。(詳細は[30ページ](#)をご覧ください。)



## MIDI 機能

### MIDI を使用するための設定（続き）

#### ステップ1 - EXP/MIDIジャックをMIDIモードに設定する

- 1 **フットスイッチ**を押し続けながら電源アダプターのプラグを挿します。  
2秒以上経ち、LEDが**レッド**に点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **MIX (EXP/MIDI JACK)** ノブを時計回りに回し、LEDが**ブルー**（最大）になるまで回してMIDIモードを選択します。

**NOTE** : MIDIデータは、EXP/MIDIジャックのTRS接続のTIP（チップ）で受信されます。

## MIDI 機能

### MIDI を使用するための設定（続き）

#### ステップ2 - MIDIチャンネルの設定



- ③ **TIME (MIDI CHANNEL)** ノブを回して、MIDI通信チャンネルを設定します。LEDはステータスを表示します。ノブで選択できるチャンネルは以下の通りです。

- チャンネル 1：**グリーン**（デフォルト、最小位置）
- チャンネル 2：**アンバー**（10時の位置）
- チャンネル 3：**レッド**（12時の位置）
- チャンネル 4-16：**ブルー**（最大位置） - 次に受信したMIDI プログラムチェンジメッセージで設定します。1/4インチMIDIケーブル接続が必要です。

LEDが**ブルー**に点灯すると、ペダルがMIDIプログラムチェンジメッセージを受信するまで点滅します。メッセージを受信すると、ペダルはメッセージを送信したMIDIチャンネルに設定され、パワーアップ・モードを終了して本機が開始できるようになります。

（MIDIチャンネル4～16の設定に成功している場合は、次のページの項目④をスキップできます。）

## MIDI 機能

### MIDI を使用するための設定（続き）

#### ステップ2 - MIDIチャンネルの設定（続き）



- 4 フットスイッチを押して終了し、MIDIチャンネル設定を保存して本機の使用を開始します。

**NOTE** : 通信が機能しているかどうかを確認する簡単な方法は、フットスイッチがバイパスされているときに、CC #102に127を入力して送信することです。MIDIが正しく接続され、設定されていれば、フットスイッチが有効になります（LEDが**レッド**に点灯します）。

**NOTE** : Strymon MIDI EXPケーブルを使用してOliveraにデータを送信する場合は、MIDI OUTモードをオフにする必要があります。（MIDI OUTモードの設定については、[30ページ](#)を参照してください。）

**NOTE** : MIDI チャンネルの割り当ては、フェイバリット設定またはMIDIプリセット毎には保存されません。

## MIDI 機能

### MIDI を使用するための設定（続き）

#### ステップ 3 - MIDI 出力モードの設定

- 1 フットスイッチを押し続けながら電源アダプターのプラグを挿します。2 秒以上経ち、LEDが**レッド**に点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **RATE (MIDI OUT)** ノブを回して、本機から他のMIDIデバイスに送信するMIDIデータの種別を選択します。LEDが一瞬点滅し、選択内容を示します。
  - **OFF** : **レッド** (デフォルト、最小位置) - 本機からMIDIメッセージは送信されません。
  - **THRU** : **ブルー** (11時の位置) - 受信したMIDIメッセージのみがMIDI出力に送信されますが、本機が生成する追加のMIDIメッセージは送信されません。
  - **SEND CC, OTHER** : **グリーン** (1時の位置) - 本機によって生成されたMIDI CCおよびSysexメッセージがMIDI Outから送信（出力）されます。
  - **SEND OTHER** : **アンバー** (最大位置) - 本機によって生成されたSysexメッセージがMIDI Outから送信（出力）されます。

- 3 フットスイッチを押してMIDI OUTモードを保存し、終了します。

**NOTE** : MIDIデータは、EXP/MIDIジャックのTRS接続のRINGから送信されます。

## MIDI 機能

### MIDI モードでのプリセット保存

MIDIモードでは、現在の設定を本機の300個のプリセットロケーションのいずれかに保存できます。

- ① セーブモードに入るには、フットスイッチを3秒以上押し続けます。LEDが**グリーン**に点滅し、本機がMIDIプログラムチェンジメッセージの受信待機状態であることを示します。



- ② ペダルの現状態を現在ロードされているプリセットロケーションに保存するには、フットスイッチを3秒以上押し続けます。LEDが**ブルー**に点灯します。



ペダルの現在の状態を任意のプリセットロケーションに保存するには、本機で現在選択されているMIDIチャンネルでMIDIプログラムチェンジを送信します。

例えば：

- MIDIプログラムチェンジ#10を送信すると、プリセットがペダルの対応するメモリロケーションに保存されます。
- このプリセットを呼び出すには、MIDIコントローラーまたはシーケンサーからMIDIプログラムチェンジ#10を送信します。

## MIDI スペシフィケーション

---

### MIDI プログラムチェンジ

本機には、0～299まで順番に番号が付けられた300個のプリセットロケーションがあります。MIDIプログラムチェンジメッセージは、最大数128（0-127）であるため、プリセットは3つのMIDIパッチングにグループ分けされます。

### MIDI パッチバンク

- MIDI BANK 0** = プリセット 0-127
- MIDI BANK 1** = プリセット 128-255
- MIDI BANK 2** = プリセット 256-299

- MIDIプログラム チェンジ0** お気に入り設定（ミニスイッチからアクセス可能）（詳しくは[17ページ](#)をご覧ください。）
- MIDIプログラム チェンジ1** MultiSwitch Plus フットスイッチ 1
- MIDIプログラム チェンジ2** MultiSwitch Plus フットスイッチ 2
- MIDIプログラム チェンジ3** MultiSwitch Plus フットスイッチ 3
- MIDIプログラム チェンジ127** マニュアルモード（ノブ）

**NOTE**：一部のMIDIアプリケーションおよびコントローラーでは、MIDIプログラムチェンジが0ではなく1から始まる場合があります。これらの設定では、上記のMIDIプログラムチェンジの番号を1ずつ増やしてください。

本機は常にMIDIパッチバンク0で起動します。そのため、最初の127個のプリセットのみを使用する場合は、標準のMIDIプログラムチェンジメッセージを送信するだけでプリセットをロードできます。

MIDIバンク1および/または2を使用する場合は、各MIDIプログラムチェンジの前に、標準のMIDIバンクチェンジメッセージ（MIDI CC# 0にMIDIバンク番号と同じ値）を送信することをお勧めします。

MIDIバンク0、1、または2のいずれかでプログラムチェンジ127を選択すると、本機はマニュアルモードになります。このモードでは、本機は現在のノブとスイッチの設定位置になり、このプリセットロケーションにプリセットデータを保存することはできません。

## MIDI スペシフィケーション (続き)

### MIDI CCs

CC#	PARAMETER	RANGE	ENUMERATION
0	Bank Select	0-2	{0=Bank 1, 1=Bank 2, 3=Bank 3}
11	Heads	1-3	{1=long, 2=short, 3=both}
12	Time	0-127	
13	Rate	0-127	
14	Intensity	0-127	
15	Regen	0-127	
16	Mix	0-127	
17	Tone	0-127	
27	Footswitch	0, 127	{0=release, 1-127=press}
60	MIDI Expression Off/On	0, 127	{0=off, 1-127=on}
96	Mod	0, 127	{0=off, 1-127=on}
97	Infinite	0, 127	{0=release, 1-127=hold}
100	Expression Pedal	0-127	{0=heel, 127=toe}
102	Bypass/Engage	0, 127	{0=bypass, 1-127=engage}

**NOTE** : すべてのオン/オフパラメーターは、0=オフ、その他の値 (1~127) =オンとして実装されています。しかし、MIDIコントローラーの多くはオン/オフスイッチとして0と127を送信するため、これらは「0」と「127」として記載されます。

**NOTE** : MIDIアプリケーションやコントローラーの中には、MIDI列挙を0ではなく1から始めるものがあります。このようなセットアップでは、上記の数字を1ずつ増やしてください。

## ファクトリーリセット（工場出荷時の設定へリセットする）

ファクトリーリセットを実行すると、ペダルは工場出荷時の状態にリセットされ、電源投入時の機能と、保存されているすべてのプリセットが工場出荷時の状態に置き換えられます。

- 1 **フットスイッチ**を押し続けながら電源アダプターのプラグを挿します。2秒以上経ち、LEDが**レッド**に点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 フットスイッチを再度押したままで、**RATE (FACTORYRESET)** ノブを最小から最大まで、そしてまた最小に戻す操作を2回繰り返します。ノブの調整範囲の両端でLEDの色が変わり、**レッド**に点滅してリセット中であることを示します。

- TURN1、最小～最大まで：アンバー
- TURN2、最大～最小まで：レッド
- TURN3、最小～最大まで：アンバー
- TURN4、最大～最小まで：すぐにフットスイッチを離します。LEDが**レッド**に点滅し、本機がリセットされて再起動します。

## ファクトリーリセット（続き）

---

### ファクトリー・デフォルト・セッティング

FEATURE	FACTORY DEFAULT SETTING
Bypass Mode:	True Bypass
Spillover Mode:	Off
Dry Signal Mode:	Digital
Tone:	50% (flat)
LED Brightness:	Maximum
EXP/MIDI Jack:	Assigned to Expression Mode and configured to control the <b>MIX</b> knob
MIDI Channel:	1
MIDI OUT Mode:	Off
MIDI Expression:	On

## 主な特徴

---

- 缶の仮想回転速度の調整でディレイタイムを決定します
- ディレイタイムまたはマルチタップエコー用に、ロング、ショート、または両方の再生ヘッドの有効化を選択
- オプションのリモートスイッチで、レートとインテンシティをコントロールしてリピート音のモジュレーションが可能
- リジェネレーション機能が、入りにフィードバックされるエコー量を制御し、様々なリピート量とテクスチャを実現
- オプションのリモートスイッチで無限リピートがトリガー可能
- エコーリピートのトーン調整
- ウェット信号とドライ信号のフルミックスコントロール
- アナログドライパスオプション：デジタル変換されないゼロレイテンシーのドライ信号
- キルドライモード：ドライ信号をミュートし、ウェット信号のみがコントロール可能
- スピルオーバーオプション：エフェクトバイパスやプリセット変更後もリピート音を聴こえさせるオプション
- 真のステレオスループット（リアルステレオプロセッシング）を実現するステレオ入力とステレオ出力（TRS以外の機器と接続する場合は、各ジャックに別売りの「TRS-デュアルTS」アダプターまたはケーブルが必要です。別売）
- ツールバイパス（エレクトロメカニカルリレースイッチング）
- エクスプレッションペダル入力：TRSエクスプレッションペダル、Strymon MiniSwitch、MultiSwitch Plus、またはTRS MIDI接続に対応
- ハイインピーダンス、超低ノイズのディスクリートClass A JFET、TRSステレオプリアンプ入力
- フルMIDI機能（双方向のコンティニューアスコントローラー&プログラムチェンジメッセージ、300種類のプリセット）
- ファームウェアアップデート用のUSB-Cジャック
- 最大+10dBuの入力レベル：楽器およびラインレベル信号を容易に処理
- 高性能520MHz ARMスーパー scaler プロセッサ
- 32ビット浮動小数点演算処理
- 超低ノイズ、高性能A/DおよびD/Aコンバーター
- 堅牢で軽量のアルマイト処理アルミシャーシ
- 米国での設計・製造

## スペシフィケーション

---

入カインピーダンス	1 Meg Ohm
出カインピーダンス	100 Ohm
A/D & D/A	24-bit 96kHz
最大入力レベル	+10 dBu
S/N	116 dB typical
バイパススイッチング	トウルーバイパス(リレースイッチング)
サイズ	(D) 11.4 cm x (W) 4.3 cm x (H) 5.6 cm

### 電源アダプター規格

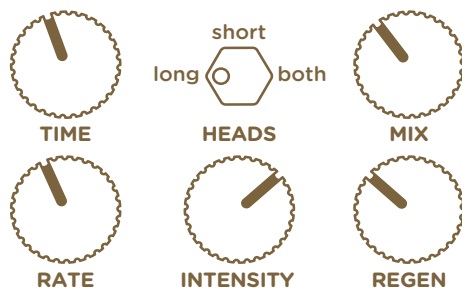
9VDCセンターマイナス、250mA以上のアダプターを使用してください。9Vより高い電圧の電源に接続しないでください。アダプターは付属されていないので、別途ご購入ください。

## Appendix 1 : サンプルセッティング

## サンプルセッティング

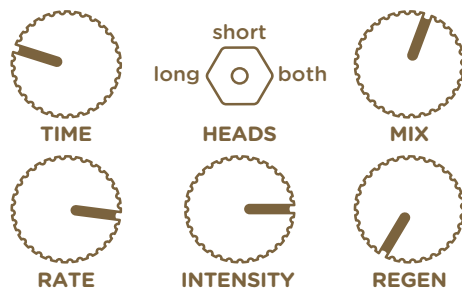
以下に、すぐにお使いいただけるサンプル設定をご紹介します。これらはファクトリープリセットとしても保存されており、MIDIプログラムチェンジまたはマルチスイッチ・プラスからアクセスできます。

### Soft Echoes



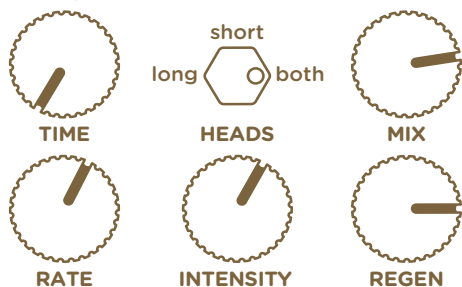
MIDI Program Change 0  
MiniSwitch Favorite

### More or Less



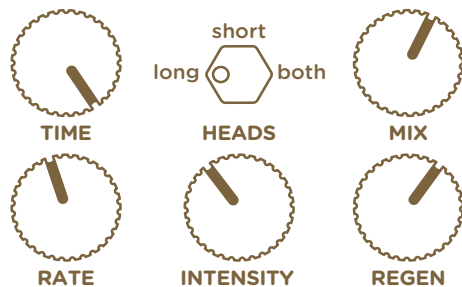
MIDI Program Change 1  
MultiSwitch Plus A

### Synthetic Shrubberies



MIDI Program Change 2  
MultiSwitch Plus B

### Security Blanket



MIDI Program Change 3  
MultiSwitch Plus C

**NOTE** : これらのファクトリープリセットは、すべてライブエディット機能のデフォルト設定で保存されます (9ページ参照)。

## Appendix 2 : パワーアップモード クイックリファレンス

## パワーアップモード - クイックリファレンス

グローバルパラメーターとその機能には、電源投入手順によってアクセスできます。すべてのパワーアップ機能は、電源を入れ直しても維持されます。

- 1 フットスイッチを押し続けながら電源アダプターのプラグを挿します。2秒以上経ち、LEDが**レッド**に点滅したらフットスイッチを離します。
- 2 以下のコントロールで必要な機能を調整します。
- 3 フットスイッチを押して変更を保存し、パワーアップモードを終了します。

POWER UP MODE	OPTIONS
<b>バイパスモード モノ I/O</b> 図を用いた説明は <a href="#">10 ページ</a> をご覧ください	<b>HEADS</b> スイッチをセットして行います。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ツールバイパス：スイッチ <b>long</b> (左の位置) または <b>short</b> (中央) ポジション LED <b>グリーン</b> (デフォルト設定)</li> <li>• バッファードバイパス：スイッチ <b>both</b> (右) ポジション LED <b>レッド</b></li> </ul>
<b>スピルオーバーモード</b> 図を用いた説明は <a href="#">11 ページ</a> をご覧ください	<b>REGEN</b> ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• オフ：<b>アンバー</b> (デフォルト設定、最小位置)</li> <li>• オン：<b>パープル</b> (最大位置)</li> </ul>
<b>ドライ信号</b> 図を用いた説明は <a href="#">12 ページ</a> をご覧ください	<b>INTENSITY</b> ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• デジタル：<b>グリーン</b> (デフォルト設定、最小位置)</li> <li>• アナログ：<b>レッド</b> (12 時の位置)</li> <li>• キルドライ：<b>ブルー</b> (最大位置)</li> </ul>
<b>LED 輝度</b> 図を用いた説明は <a href="#">13 ページ</a> をご覧ください	もう一度フットスイッチを長押しして <b>REGEN</b> を回すと LED の輝度が調整できます。
<b>EXP/MIDI ジャックモード</b> 図を用いた説明は <a href="#">14 ページ</a> をご覧ください	<b>MIX</b> ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Expression/ エクスプレッション：<b>グリーン</b> (デフォルト設定、最小位置)</li> <li>• Favorite/ フェイバリット：<b>アンバー</b> (11 時の位置)</li> <li>• Tap/ タップ：<b>レッド</b> (12 時の位置)</li> <li>• Infinite/ インフィニティ：<b>パープル</b> (2 時の位置)</li> <li>• MIDI：<b>ブルー</b> (最大位置)</li> </ul>

## パワーアップモード - クイックリファレンス (続き)

POWER UP MODE	OPTIONS
<p><b>MIDI チャンネル</b>            図を用いた説明は <a href="#">28</a>  <a href="#">ページ</a>をご覧ください</p>	<p><b>TIME</b> ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>1</b> : <b>グリーン</b> (デフォルト設定、最小位置)</li> <li>● <b>2</b> : <b>アンバー</b> (10 時の位置)</li> <li>● <b>3</b> : <b>レッド</b> (12 時の位置)</li> <li>● <b>4 - 16</b> : <b>ブルー</b> (最大位置、次に受信した MIDI プログラムチェンジメッセージによって設定されたチャンネル。)</li> </ul>
<p><b>MIDI OUT モード</b>            図を用いた説明は <a href="#">30</a>  <a href="#">ページ</a>をご覧ください</p>	<p><b>RATE</b> ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスが LED で点滅表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>OFF</b> : <b>レッド</b> (デフォルト設定、最小位置)</li> <li>● <b>THRU</b> : <b>ブルー</b> (11 時の位置)</li> <li>● <b>ON CC, OTHER</b> : <b>グリーン</b> (1 時の位置)</li> <li>● <b>ON OTHER</b> : <b>アンバー</b> (最大位置)</li> </ul>
<p><b>ファクトリーリセット</b>            図を用いた説明は <a href="#">34</a>  <a href="#">ページ</a>をご覧ください</p>	<p>フットスイッチを押したまま、<b>RATE</b> ノブを 0% から 100% まで 2 回戻します。LED にステータスが表示されます。</p>

**NOTE** : プリセット毎にペダルの機能を設定する場合は、[16ページ](#)の「エクスプレッションペダルのセットアップ」をご覧ください。

## Appendix 3 : ライブエディット機能 クイックリファレンス

## ライブエディット機能 - クイックリファレンス

---

本機はエコーリピートのトーンを調整できます ([9ページ](#)の「ライブエディット - トーン機能」も参照)。これらの設定は、お気に入りまたは MIDI プリセットごとに保存されます。

- 1 ONフットスイッチを押したまま、1秒以内に**REGEN**ノブを回すと、ライブエディット - トーン機能が起動します。(ノブを回さずにフットスイッチを2.5秒間押し続けると、ペダルは**SAVE/EXPRESSION**モードになります。)
- 2 選択が完了したらフットスイッチを離し、本機の使用に戻ります。

FUNCTION	DESCRIPTION
<b>TONE</b> 図を用いた説明は <a href="#">9ページ</a> をご覧ください	<b>REGEN</b> ノブを回すと、エコートーンが最小（暗め）から最大（明るめ）まで滑らかに調整できます。デフォルトでは、 <b>TONE</b> は 50%（フラット）に設定されています。

---

## 使用上のご注意

---

▲ 警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり、煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

▲ 警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

## Strymon 限定保証（譲渡不可）に関する規定

### 保証について

Strymon は、正規 Strymon ディーラーから購入された場合、その製品と製品中のコンポーネントが、購入日から次の期間、材質および製造上の欠陥がないことを保証します。

#### 製品保証が1年間となる製品

第一世代のペダル・・・blueSky、El Capistan、Flint、Lex、Deco、DIG  
Brigadier、OB.1、Ola、Orbit、TimeLine、Mobius、BigSky

#### 製品保証が2年間となる製品

上記以外のエフェクトペダル、ユーロラックモジュール、パワーサプライ製品、MIDI インターフェイス

※ 付属品のパワーサプライ、および、MIDI ケーブルアクセサリについては、初期不良の場合のみ製品保証を適応させていただきます。

保証期間内に製品が故障した場合、Strymon 日本総代理店オールアクセスインターナショナル株式会社が、最初の購入者に限り無償で修理、または当社の裁量により製品を交換いたします。また、本保証を最初の購入者以外へ譲渡することは出来ません。

### 免責事項

この保証は、ユーザーマニュアルに記載されている推奨の使用方法に従って、Strymon 製品を使用中に発見された製造上の欠陥を対象とします。この保証は紛失や盗難には適用されません。また、誤用、不正な改造、不適切な保管、落雷、または自然災害によって引き起こされた損害にも適用されません。上記の状況によって生じた損傷は、保証対象外の修理料金が発生する場合があります。

非正規販売店や海外から購入された製品は、この保証の対象外となります。保証は譲渡不可であり、中古品または譲渡された製品には適用されません。

### 保証範囲

故障の場合は、前項の通り、修理または交換の対応のみとなります。オールアクセスインターナショナル株式会社は、本製品の故障に起因するいかなる損害に対しても一切の責任を負いかねます。保証外の損害には、逸失利益、逸失貯蓄、他の機器への損害、および本製品の使用または使用不能から生じる付随的または派生的損害等が含まれますが、この限りではありません。いかなる場合においても、当社は、製品の市場想定価格を超えない範囲で保証対応し、それを超える保証に関する責任を負いません。

### この保証に基づいてサービスを受ける方法

製品が故障した場合は、当社 web page の『お問い合わせフォーム』

[https://allaccess.co.jp/support/form\\_contact.php](https://allaccess.co.jp/support/form_contact.php)

ページから必要事項を記入して、ご連絡ください。

strymon 正規輸入販売代理店

**オールアクセスインターナショナル 株式会社**

本社：愛知県あま市本郷三反地21番地  
営業事務所：愛知県あま市本郷四反田27番地

【お問い合わせはこちら】

mail : support@allaccess.co.jp

<https://allaccess.co.jp>